

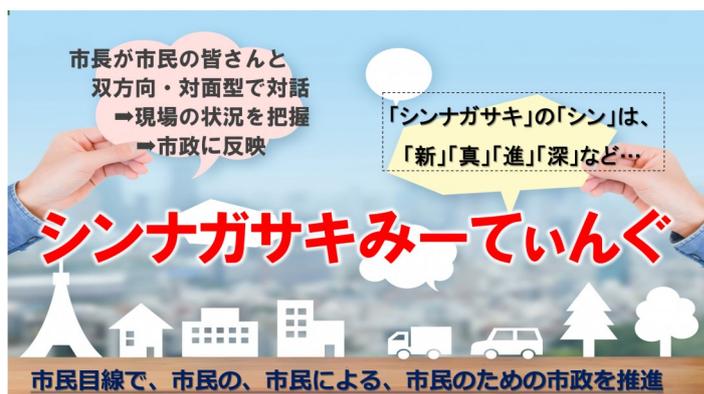
# シンナガサキミーティング開催レポート

## i n 香焼小学校区



令和6年2月20日（火）、自治会やまちづくり協議会、育成協、PTA、地元保育所・学童関係者など13人の皆さんにお集まりいただき、香焼小学校区の「シンナガサキミーティング」を開催しました。

自己紹介では、香焼文化フェスティバルや鬼火焚きなどの地域活動やシニア世代の健康づくり活動、また、地域で暮らしていく中で感じていることなどをお話いただきました。



## いただいたご意見

### ①地域行事の開催場所について

市の施設の閉鎖や南部学校給食センターの建設に伴い、鬼火焚きなどの地域行事について開催場所を変更することとなった。地域でできていたことができなくなるようなことがないようにしてほしい。

市の考え方  
回答

鬼火焚きについては、主催者である育成協（香焼中学校区青少年育成協議会）から、事業予定地に隣接する市有地で実施可能との回答をいただいております。育成協においては、次回（令和7年1月）の同地での実施に向けて、規模や開催方法を検討されている状況です。

今後も、地域のご意見をしっかりと聴きながら、取り組んでまいります。

## ②病児・病後児保育について

病児後保育が南部地域にはなく、子供が病気になったときに預ける保育場所がなくて困っている。どうにかできないか。

市の考え方

病児・病後児保育施設は、令和6年度内に現行の4施設から8施設へ4施設増設する予定としています。増設する4施設のうち2施設は南部地区に設ける予定となっています。

回答

## ③PTA活動について

児童・生徒数が減少しているため、これまでどおりのPTA活動することは不可能ではないか。PTAの在り方を、本格的に考えないといけない時期に来てるのではないか。

市の考え方

現在、市内の各PTAにおいても、人口減少や加入世帯減少を踏まえて組織や活動を見直すところが多くなってきています。

PTAは任意団体であるために教育委員会の権限は及びませんが、時代の流れに応じた改革等は支持しており、助言等も随時に行っています。状況に応じたPTA運営を思案することそのものが主体的であり、有用な社会教育が実践されているので、実際の活動でも効果的となるよう支援に努めてまいります。

回答

また、長崎市PTA連合会とも連携を図り、研修をとおして市内各PTAで悩み等を打ち明け、共通理解を図ってまいります。

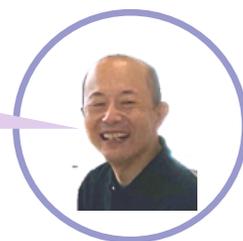
そのほか、「自治会要望についてもう少し丁寧に向き合ってほしい」、「5歳児健診に取り組んでほしい」、「不登校児に対応できる施設が南部地区にできないか」、「学校行事の中で、シニア世代の方たちにできることをお願いすれば活躍の場もできるし、お互いに助かるのではないか」などのご意見をいただきました。

いただいたご意見は、担当部局と共有し、今後の市政運営に活かしていきます。

## 鈴木市長のひと言

少子高齢化、人口減少などほかの地域とも共通の課題を、皆さん感じておられるなということを改めて感じました。

それぞれがお持ちの強みを発揮しながら、協働で助け合いながらやっていけるよう、市も皆さんと一緒に取り組んでいきたいと考えています。



## 参加者からの感想

まちづくり協議会の活動で、若い世代の方とも一緒に頑張っていきたいと思った。

市長が地域の声を直接聞いてくれて嬉しかった！！

色んな方の意見を聞かせていただいて、とても勉強になりました。

直に話を聞いたりすることで、すごく分かりやすいし、皆さんの思いも伝わり、いい会だと思いました。

